



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、成果物やテストで学習を評価、年 4 日間福岡安宅 (あたか) の本校にてスクーリング (面接授業) を受ける学習システムです。

お母様たちよ。黙りこくなかれ!

校長 日野 公三

人に相談することに疲れ果てた母親の役に立つ。
 明蓬館 SNEC の支援と伴走の対象は生徒であり、母親、そしてその他の家族です。
 全教職員で心に期しました。当校は生徒ファーストです。
 その次のファーストは保護者、とりわけ母親です。
 お母様たちよ。
 泣くなかれ。悲しむなかれ。黙りこくなかれ。振り返るなかれ。
 絶望の中に希望の光をあきらめるなかれ。無関心の人や一般論の助言をする人に近づくなかれ。そして自らの生命の力をどこまでも信じて。神に選ばれ、試練を与えられた「選ばれし人、であると昂然と顔を上げて欲しい。
 『発達障害の子どもたちの進路と多様な可能性』日野公三 著 より抜粋

旬の食材調理実習~たけのこ尽くし



地域の方からいただいた、初物の旬の安宅産特大タケノコ。
 1 年生たちは、初体験の薪割りとおこしに挑戦。
 即刻、釜茹ですること 1 時間。北九州の合馬のたけのこにも負けない柔らかさとみずみずしさとえぐみのなさ。そのままいただいても十分美味しい。

福岡 本校 所属生徒 内訳 (6/1 付)				
スクール生	ネット生	セルフ生	サポート校	合計
24 名	41 名	8 名	23 名	96 名

全校
353 名

本校：5 月 2 名 6 月
 1 名の転入生あり。

今月の家庭科、総合的学習の時間のメニューは
 ① タケノこご飯
 ② タケノコのきんぴら
 ③ タケノコの刺身二種タレ
 ④ 安宅根野菜の豚汁
 三十名近い生徒達は地域の恵みを美味しくいただきます。ありがとうございます。



校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

ホタル・アサギマダラ部

今年の4月より、二つの部活が発足しました。
 ホタル・アサギマダラ部と地産地消料理部。
 アサギマダラは海を渡る蝶として秋になると小田原から南下してきて、九州内で栄養補給し、2000キロの海を渡って、台湾まで群をなして飛んでいきます。その栄養分がフジバカマの蜜です。さて、今回はアサギマダラプロジェクトとして第一弾、苗の植え付けをしました。早速、偵察隊の1頭が安宅に舞い降りしました。秋に群をなして飛んできてくれますよう、今から楽しみです。
 ホタル部の活動は、安宅川からオスメスのホタルを捕獲して、水槽の中で卵を産ませ、幼虫が大きくなるまで育てます。エサはカワニナを採ってきて食べやすく刻んで与えます。地道な作業ですが激減しているホタルを増やしていこうという山田中学校ホタル部の指導を受けながら手探りの活動初年です。
 お世話になっている学校周辺、安宅の地に自然と夢を恩返しできますよう、生徒共々がんばって参ります。よろしくお祈りします。 副校長 小賀 友子

アサギマダラプロジェクト開始



「川崎町と高校生とのパートナーシップ事業」として今年も安宅地域に植物を植えていきます。



鍛錬遠足 英彦山 歓遊舎

新入生歓迎鍛錬遠足は、お隣の添田町にある英彦山歓遊舎。
 添田駅から歓遊舎まで徒歩 40 分の道のりを歩きました。道中の挨拶がとても気持ち良かったです。



学校の裏門通りのフジバカマに加えて、表玄関側にも植え付けました。生徒は農業体験の授業、就業体験の授業、総合的学習の時間の単位取得のための実習として取り組みます。